

シゲルくん通信

2019年
10月号
NO. 78



こんにちは 防水工事の茂興業 社長の高橋英樹です。
10月22日に天皇陛下が「即位礼正殿の儀」で即位を
宣言しました。日本の歴史に残る一日になりました。
秋の味覚サトイモをはじめ会社の畑では大根が順調
に育っています。そして、19日には全社会議を開催し、
後半に向けて方針の確認をしました。恒例の「夢を語
る」では、皆さんの楽しい夢を聞くことができました。
皆さんでファイト！！



この度の台風被害にあわれた皆様、心よりお見舞い申し上げます。
私たちの歴史の中に幾度となく繰り返される災害。そのたびに復興
を遂げながら生きて今があります。一日も早い復興を願います。

▲文・絵：ことだま遊書作家：ことだま千絵子

10月19日(土) アートホテル新潟駅前にて半期全社会議を開催！！



令和元年10月19日(土) アートホテル新潟駅前にて、2019年度「半期全社
会議」を行いました。前期の報告と反省をふまえて、売上目標を達成するため
後期も頑張ろうと社員全員が誓いました。
増村統括本部長より、来年の55周年についてお話を頂きました。
また、高橋企画室長より、防災についてのお話を頂きました。会議終了後
の懇親会では、恒例のビンゴゲームで大いに盛り上がりました！！



▲増村統括本部長より
55周年イベント企画の説明

▲高橋企画室長より
防災についてのお話。



▲前期の反省をふまえ、
後期は社員一丸となって
頑張ります！

新入社員
総務部 齋藤 晶さん

☆シゲルくん通信の第78号をお届けします。次回のお役立ち情報をお楽しみに☆





★毎月掲載している挿絵はこちらからどうぞ。インスタ始めました。

★今月のイラスト⇒ 旬のアオリイカ釣りを使う餌木とイカ絞めピック、描いてみました

こんにちは(人^人) 自称、茂興業内で一番の映画好き、増村文武です。今月もテーマに沿っておススメの映画を御紹介させていただきます(人^人)

連載第18回目のテーマは『ドローン』 昨今身近な存在となったドローンですが、もともとは軍事利用目的として技術開発されたものでした。 軍事や犯罪を描いた近年の映画の中においては、神の眼的な使われ方でリアリティある演出に欠かせないアイテムとなりました。 今回はドローンの眼を通して描かれる臨場感や緊迫感がハンパない、甲乙つけがたい3本を御紹介致します。 ちなみに1984年制作の『ターミネーター』の中で登場する無人機ハンターキラーは、現在のドローンの姿を予見していたかのような容姿そのもの。 あらためてジェームズ・キャメロン監督の先見性に脱帽! 弊社もドローンによる屋根調査・面積算出システムを本年より導入しております、どうぞよろしくお願いたします(人^人)

① 『アイ・イン・ザ・スカイ 世界一安全な戦場 (2015年 イギリス映画)』

ケニアの首都ナイロビに潜伏し自爆テロを画策中のテロリスト集団のアジトを突き止めた英軍、米軍の合同チーム。 現地作業員との連携のもと、無人爆撃機による掃討作戦をドローンを使って何千キロもはなれた自国の安全な場所から指令し遂行しようとする(昆虫型の超小型ドローンも登場) 発射準備に入ったその時、アジトの隣に住みたいけな少女が、攻撃目標脇の路上で母親が焼いてくれたパンを売る準備を始めてしまい… リアリティと焦燥感溢れる描写、軍事行動がもたらす複雑な結末、安全な場所から指令を出す組織上層部の一人としての人間的葛藤… いろいろなどを考えさせられる良い作品です。 本作が遺作となった『ダイ・ハード』の名悪役アラン・リックマンの演技も渋い☆

② 『ゼロ・ダーク・サーティ (2012年 アメリカ映画)』

本作にてアカデミー賞主演女優賞にノミネートされたジェシカ・チャステインの熱演が良いですね(人^人) アメリカ同時多発テロの首謀者とされ、2011年5月2日に実行された米軍によるウサーマ・ビン・ラーディンの暗殺軍事行動を描いた作品。 一応、実話を元に作られたフィクションというくりになっております。 どんより何とも言えない重さと痛み、複雑な余韻を残すしかし傑作な一本。 ちなみに”ゼロ・ダーク・サーティ”とは、軍事用語において午前0時30分を示し、ウサーマ・ビン・ラーディンを襲撃した時間ということだそうです。 本作でもドローンによる軍事作戦が描かれており、そのほかにも暗視スコープを使った潜入場面など、臨場感と緊迫感に溢れた作品となっております。

③ 『ボーダーライン (2015年 アメリカ映画)』

アメリカ・メキシコ国境を舞台に、国境をまたいだ麻薬カルテル帝王の極秘捜査に参加する女性FBI捜査官の苦悩を描いたクライム・サスペンス。 ジョシュ・ブローリン演じる国防総省のリーダー、ベニチオ・デル・トロ演じるコロンビア人のエージェント、強面の謎めいた二人の男たちと共に危険極まりない捜査に参加する中、エミリー・ブランド演じる主人公は、何が正当で何が不正なのかを見失いそうな極限状態に陥っていき… ラストシーンは観る者我々がその結末で良いのかどうかの選択を迫られる一本。 そして異様に際立つのがベニチオ・デル・トロの形容しがたい不気味な威圧感! 監督がドゥニ・ヴィルヌーヴということで、後の彼の監督作である私の愛すべき『ブレード・ランナー2049』を彷彿とさせる画の撮り方やバック音楽も緊迫感に拍車をかけます。 国境での夜間奇襲シーンほか神の眼としてドローンが威力を発揮!

もし御興味が沸いてきましたら、皆様もぜひ一度御鑑賞を (人^人)☆

【お詫びと訂正】 シゲルくん通信 9月号 (NO.77) 掲載内容の誤りについて

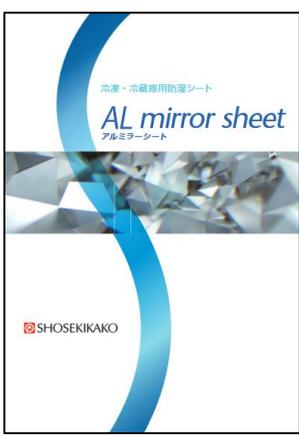
平素より、シゲルくん通信をご愛読いただき誠にありがとうございます。この度、先月発送致しましたシゲルくん通信9月号の今月のメーカー様研修のご紹介にて、株式会社ダイフレックス様の取り扱い製品名に誤りがありましたこと深くお詫び申し上げます。

【誤】 「アロンコートSQ」

【正】 「エバーコートZero-1シリーズ」

関係各位の皆様、および読者の皆様には大変ご迷惑をおかけし、申し訳ございませんでした。訂正してお詫び申し上げます。

ゴムアスファルト防水組合 東日本支部新潟ブロック研修会 参加



10月24日(木)、アートホテル新潟駅前にてゴムアスファルト防水工事業協同組合主催の東日本支部新潟ブロック研修会に弊社より12名が参加致しました。本年度は、タフネス防水PR動画についての説明と、クロスアーマー防水仕様の追記や変更、また新仕様としてポリマーセメント系塗膜防水・冷凍、冷蔵庫用防湿シートの説明及び、平成31年度版公共建築共通仕様書の一部改訂についての研修でした。

▲ アルミラーシート